

2019年度（第9事業年度）

## 事業報告及び附属明細書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

## I. 公益目的事業

### 生涯学習の振興及び活性化支援事業

2019年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

特に、今年度はキャリア人財プラットフォーム事業におけるネットワーク形成に注力し、財団中期ビジョンに沿って、財団の目的を継続的に果たすことができるよう基盤を強化した。

### 1. 研究調査

#### (1) 防災・減災に関する研究調査

趣旨：男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と連携して事業を行うと共に、HP等で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

内容：①財団HPの「防災・減災とジェンダー」を更新した。

②月刊『We learn』2019年8月号で「防災・減災と男女共同参画」の特集を組んだ。

③スペース We learn に防災・減災とジェンダーに関する財団所蔵資料を配架、データベースを更新しHPで公開した。

④NVEC 災害復興支援女性アーカイブに、月刊『We learn』に掲載した防災・減災に関する記事を全文読めるようpdfを登録・公開した。

#### (2) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一歩を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰する。

選考委員：村松泰子（委員長）、高井正、服部篤子、藤井俊一

内容：①選考委員会

実施日：2019年11月29日 応募36篇の中から大賞1篇を選考。

第3回 日本女性学習財団 未来大賞

受賞レポート「ドアノブのないドアの向こうへ～『相談の力』を信じて～」

長岩佳子（東京都）

②贈呈式

2020年3月8日開催をコロナウイルス感染拡大の影響で延期とした。

\*月刊『We learn』2020年3月号に大賞レポートを全文掲載した。

### 2. 人財育成事業

#### (1) キャリア人財プラットフォーム事業

趣旨：女性のエンパワーメントを目指し、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する方を「キャリア支援デザイナー」として登録するための養成講座を実施する。また、「キャリア人財プラットフォーム」を基盤として、

この核となる「キャリア支援デザイナー」の交流と活動を支援する。

内容：①（公財）日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第7期養成講座

日時：6月9日

講師：亀田 温子、村松 泰子

登録者：23人

②（公財）日本女性学習財団キャリア支援デザイナー更新講座 第5期

日時：10月20日

講師：倉持 伸江、村松 泰子

\*5期更新者：15人

(1～7期 登録デザイナー 115人：2020年3月31日現在)

③ デザイナーブラッシュアップ講座

日時：5月16日

参加者：27人

テーマ：「“多様な人々が生きやすい社会づくり”とソーシャル・イノベーション～女性義足ユーザーコミュニティ『ハイヒール・フラミンゴ』の活動から考える～」

講師：服部 篤子

女性義足ユーザーコミュニティ『ハイヒール・フラミンゴ』

(「第2回日本女性学習財団 未来大賞」受賞者)

共催：同志社大学総合政策科学研究科服部研究室

④ デザイナー企画協働事業

第1回応募企画 2件、採用企画 2件

第2回応募企画 5件、採用企画 4件（うち2件は2020年度実施予定）

日時：4月19日（前年度採択分）

参加者：11人

テーマ：「～学ぶ・つながる・アクションする～ 次世代のウーマンパワーをクリエイトする！」

企画：山口 文代（第2期）

講師：青木 八重子、山口 文代

協働先：NPO 法人パートナーシップながれやま&流山子育てプロジェクト

日時：5月17日（前年度採択分）

参加者：36人

テーマ：「ダイバーシティが進まない原因。アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）かも？～無意識のバイアスの“正体”に迫る～」

企画：関西キャリア支援デザイナー（岩木 千秋、奥田 和子、大橋 由美、橘 みちほ、藤田 朋子、松尾 規子）

講師：加藤 千恵、柴橋 静華、村松 泰子

協働先：関西キャリア支援デザイナー&（一社）未来教育推進機構

会場：UMEDAI 大阪・梅田会議室（大阪市北区）

日時：6月23日（前年度採択分）  
参加者：14人  
テーマ：「休職・離職危機からのキャリア再起—もう一度、輝く私になる」  
企画：佐藤 美礼（第4期）  
講師：佐藤 美礼  
協働先：佐藤 美礼

日時：7月27日（第1回採択分）  
参加者：20人  
テーマ：「IKIGAI(生きがい)探しのワークショップ ～今の自分を知り、  
明日への一歩を踏み出す～」  
企画：垣内 啓江（第2期）  
講師：垣内 啓江  
協働先：(株) ケイ・シー・ブライトン

日時：9月7日（第1回採択分）  
参加者：16人  
テーマ：「幸せな働き方・生き方とは ～女性のWell-Beingなキャリアを  
実現するために～」  
企画：垣内 啓江（第2期）  
講師：垣内 啓江、前野 マドカ、岡本 直子  
協働先：(株) ケイ・シー・ブライトン&EVOL（株）

日時：2020年2月8日（第2回採択分）  
参加者：10人  
テーマ：「キャリアとネットワーキング ～美濃焼おかみ塾の活動から～」  
企画：遠藤雅子（第2期）  
講師：遠藤雅子、白頭智子  
協働先：遠藤雅子

\*2020年3月15日開催予定（第2回採択分）の協働事業は、コロナウイルス感染拡大の影響で延期とした。

⑤ デザイナー企画講師派遣事業

応募企画 2件、採用企画 2件（うち1件は2020年度実施予定）

日時：2020年2月24日  
参加者：28人  
テーマ：「ここで（地方で）どう生きるかⅢ  
人生100年時代！地方に生きる大人の女性のまなびとは」  
企画：高橋福子（第4期）  
講師：村田晶子  
会場：いわて県民情報交流センター（岩手県盛岡市）

主催：エンパワーメント 11(い)わて

⑥デザイナー交流会

日時：5月17日（協働事業実施後に開催）

参加者：6人

会場：大阪市北区内

⑦デザイナーフォーラム 2019

日時：11月2日

参加者：延 62人

会場：メルパルク東京および日本女子会館会議室（東京都港区）

内容：シンポジウム「女性が仕事を辞める理由。—女性がキャリアを継続するための支援とは」

講師：大沢真知子、大槻奈巳 コーディネーター：柚木理子

トークセッション「女性アスリートの過去・現在・未来」

登壇者：秋山エリカ、宮嶋泰子

分科会 1：「ライフイベントとキャリア～キャリアの壁を越えるヒントを探る」

分科会 2：「キャリア支援デザイナーの未来を語ろう！」

交流会

(2) 子育て支援者養成講座

趣旨：子育て支援に携わる人を対象に、ジェンダー視点をもった支援を軸とした支援者養成講座を開催する。

日時：2020年2月1日

参加者：15人

テーマ：「知ろう・学び合おう～多様な性と生～」

講師：渡辺大輔

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供する。男女共同参画社会基本法制定から20年にあたる今年度は、ジェンダー主流化と交差性を年間テーマに、キャリア支援デザイナーをはじめ他事業と連携した情報提供を行った。

① 総発行部数 13,200部 (1,200部/月、年11回発行)

② 販売部数 4,784部 贈呈・交換部数 3,289部 事業配布 600部

③ 特集テーマ

2019年4月号	男女共同参画社会基本法制定20年を迎えて
5月号	若者×ジェンダー — ユースへの支援を考える
6月号	インフラとジェンダー
7月号	政治と女性—政治を変えるためには

8月号	防災・減災と男女共同参画
9月号	持続可能な地域社会と女性のエンパワーメント
10月号	女性×キャリアー—未来を拓くために
11・12月号	DV・虐待—暴力を止めるために
2020年1月号	学校教育の現場から考える
2月号	科学にひそむ“偏見”を問う
3月号	出発・再出発を支える

## (2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

### ① パネルの貸出

貸出件数：9件

発見！ジェンダー 貸出先 3件	東京都府中市男女共同参画センター、東京都府中市市民活動センター、玉川大学教育学部
なるほどジェンダー 貸出先 6件	沖縄県嘉手納町、熊本県くまもと県民交流館パレア男女共同参画センター、山口県山口市、兵庫県丹波市立氷上文化センター、千葉県鎌ヶ谷市男女共同参画室、佐賀県多久市男女共同参画係

販売件数：2件

なるほどジェンダー 販売先	宮崎県日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム、長崎県男女共同参画推進センター
------------------	--

### ② 国立女性教育会館男女共同参画推進フォーラムワークショップへの参加

8月29-31日開催の「男女共同参画推進フォーラム」にて、29-30日に「発見！ジェンダー」パネル展を開催した。

### ③ 東京ウィメンズプラザフォーラムへの参加

10月25-27日開催の東京ウィメンズプラザフォーラムにて財団紹介パネルを展示した他、26日には「発見！ジェンダー」パネル展を開催した。

## (3) 資料の整備・情報公開

### ① ホームページによる情報提供

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開した。また、フェイスブックを用いて、タイムリーな情報提供に努めた。  
ホームページアクセス数：2019年度 87,375件(前年度 127,663件)

### ② ぶっく・とーくの開催

\*2020年2月28日開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大の影響で延期とした。

## 4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

## (1) 他団体との連携・支援事業

### ① 講座等の開催

- a. 講演会「歴史ある女子大のライブラリアン、キュレーターとして働く」  
(主催：図書館員のキャリア研究フォーラム、共催：(公財)日本女性学習財団、  
(独)国立女性教育会館、協力：東京大学本部ダイバーシティ推進課)  
日時：2020年1月10日  
会場：東京大学総合図書館別館ライブラリープラザ
- b. 「人生を切り拓くライフプランニング教育」ライフプランニング講座 A<文部科学省 令和元年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」>  
(主催：聖心女子大学、共催：(公財)日本女性学習財団)  
日時：2020年1月17日  
会場：聖心女子大学
- c. 「人生を切り拓くライフプランニング教育」ライフプランニング講座 A<文部科学省 令和元年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」>  
(主催：聖心女子大学、共催：(公財)日本女性学習財団、静岡大学学生支援センター・男女共同参画推進室)  
日時：2020年2月7日  
会場：静岡大学静岡キャンパス

### ② 関連団体の会議への参加

- a. NPO 法人全国女性会館協議会：総会・理事会・常任理事会（学習事業課長）、全国大会（学習事業課課長・係長）
- b. 国際婦人年連絡会：総会、全体会、2020 NGO 日本大会実行委員会他（学習事業課長）
- c. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会 他（常務理事）
- d. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク：ワーキンググループ（理事長）

### ③ 団体、自治体、大学への職員等派遣

- ・5月16日 江東区「第27期 パルカレッジ」講師（学習事業課長）
- ・5月23日 2019年度国立女性教育会館「地域における男女共同参画推進リーダー研修」講師（理事長）
- ・5月23日 流山市「私へのごほうび講座2019」（学習事業課長補佐）
- ・6月4日 柏市「ママのためのワタシへのごほうび講座」（学習事業課長補佐）
- ・6月15日 世田谷区男女共同参画センター「平成30年度 区民企画協働事業」審査会審査委員長（学習事業課長）
- ・2019年度 国立女性教育会館「教職員を対象とした男女共同参画研修」企画委員、11月21日「学校における男女共同参画研修」講師（理事長）および動画「学校をもっと男女共同参画に～男女平等に教えるには～」(理事長出演)の制作協力（学習事業課）
- ・2019年度 文部科学省委託「次世代のライフプランニング教育推進事業（男女共同参画の推進に資する教員研修プログラムの開発に向けた調査研究）」における検討委員会委員（理事長）
- ・2019年度 文部科学省委託「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事

- 業」における研究協議会検討委員（学習事業課長）および2020年2月17日「女性の学ぶ・働く・生きる応援フェスタ2020」（学習事業課長・課長補佐・係員）
- ・2019年度 文部科学省委託「次世代のライフプランニング教育推進事業」における実行委員会委員および2019年1月－2月「人生を切り拓くライフプランニング教育」ライフプランニング講座 B<聖心女子大学・静岡大学浜松キャンパス>（学習事業課長）

④社会教育実習生の受入

10－11月 立教大学より受入

(2)生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設(事務室・会議室)を低料金で賃貸している。日本女子会館の公益目的賃貸面積は、倉庫の解約が1件あったため172.51坪となり、公益目的使用床面積の割合は32.4%となっている。

対象団体と面積は以下のとおりである。 (2020年4月1日現在)

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	45.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	5.73
3	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	111.69
4	一般社団法人 国際女性教育振興会	8階	9.80
	計		172.51

(3)シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：20件（法人会員；3団体、デイリー会員；13名、イブニング会員；2名  
バーチャル会員；2名）

\*法人会員のうち2団体に対する個室使用許諾の契約は継続中。



## II. 収益事業

2019年度の収益事業会計の経常収益は115,145,341円、経常費用は51,895,076円であり、経常増減額(税引前)は63,250,265円となる。

全会計の経常収益は151,534,424円、経常費用は134,525,695円、であり、経常増減額(税引前)は17,008,729円となり、前年度の経常増減額21,186,372円と比較し4,183,643円の減少となる。法人税は2,390,200円で、当期一般正味財産増減額は14,618,529円となる。

次年度は、大規模改修に着手する計画があるが、それとは別に、日常的な修繕・設備更新を行っていく。

なお、経常費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は54.73%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

### 1. 日本女子会館建物の賃貸事業

#### (1) 入退居テナント状況

2019年度は退去するテナントはなく、前年度に引き続き満室を維持している。

#### (2) 契約更新・再契約状況

既存テナントについての賃料改定協議は、2件については、現在も訴訟係争中である。

### 2. 日本女子会館の維持経営

#### (1) 日本女子会館建物の維持管理

これまでどおり建物の老朽化に対して計画的に修繕、更新を進めている。2019年度も老朽化に起因する不具合に適宜修繕を行った。日常点検を怠ることなく、人的に被害をもたらす恐れのあるものについては可及的速やかに修理、更新を行っている。

2019年度は、経年劣化による不具合の修繕が増加している。その他、照明器具安定器、空調設備等についても故障発生頻度が高く、今後も引き続き日常点検に注力すると共に、修繕・更新計画に基づき対応していく。

2019年度の主な修繕工事は、各所煙感知器更新、各所非常照明更新、8階トイレフラッシュバルブ更新、2階トイレ給水管更新、地階ガス漏れ検知器更新、その他各種修繕工事費は約280万円であった。

建物附属設備の更新(資産取得)として、1階女子トイレウォシュレット更新、1・2階空調機更新、階段手摺設置、4階事務室新設、4階全事務室等建具交換(不燃材への変更)、の更新を行い、そのうち建物設備更新積立資金から約657万円の取り崩しを行った。

#### (2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

平成24年8月30日に第1回委員会開催後、2019年度は5月、12月に開催し、建物の大規模修繕工事について、必須工事の選定を行い、優先順位を定めて具体的なスケジュールについて検討を行った。

### Ⅲ. 管理部門

#### 1. 賛助会員

2019 年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：35 名（38 口） 法人会員数：1 件

2020 年度についても順調に更新、入会の申込を受け付けている。

#### 2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
第 1 回 理事会 2019 年 5 月 29 日 日本女子会館	<p>議題</p> <p>(1) 2018 年度 事業報告書(案)について (2) 2018 年度 収支決算書(案)について (3) 2019 年度 定時評議員会の日程及び議案について (4) 任期満了に伴う理事、監事候補者名簿を評議員会に提案することについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて</p>	<p>可決承認 可決承認 可決承認 可決承認</p>
2019 年 6 月 21 日 理事会の決議の省略 書面による同意	<p>提案（提案者：代表理事 村松泰子）</p> <p>(1) 藤井俊一を業務執行理事に選任する</p>	承認決議
第 2 回 理事会 2019 年 10 月 10 日 日本女子会館	<p>議題</p> <p>(1) 2019 年度 上半期事業の実施状況について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	可決承認
第 3 回 理事会 2020 年 3 月 25 日 日本女子会館	<p>議題</p> <p>(1) 2020 年度 事業計画(案)について (2) 2020 年度 収支予算書(案)について (3) 常勤役員報酬減額(特例)の解除について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 2019 年度 下半期の事業進捗について (2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について (3) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて (4) 一般寄附金の受け入れについて</p>	<p>可決承認 可決承認 可決承認</p>

## 2. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
定時評議員会 2019年6月21日 日本女子会館	議題 (1) 2018年度 事業報告及び決算書の承認について (2) 理事・監事の任期満了につき改選について  報告事項 (1) 2019年度 事業計画及び収支予算書について (2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループの審議概要について (3) 評議員選定委員会の選考結果について	可決承認 可決承認

### 事業報告の附属明細書

2019年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第11条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。